

報道関係者各位



東京マラソン2012
チャリティ“つなぐ”について



【チャリティ説明会配布資料】

2011.07.06

一般財団法人
東京マラソン財団

SEBIO GROUP
セビオグループ

東京マラソンは、さらに多くの人たちを「ひとつにする」ことを目指し 2011年大会より“つなぐ”をテーマに、チャリティを実施しました。

「東京がひとつになる日。」をキャッチフレーズに開催されてきた東京マラソンは、ランナーだけでなく、多くのボランティアや応援する人たちの心をつないで大きく成長してきました。第5回目を迎える「東京マラソン2011」(2011年2月27日(日)開催)で、さらに多くの人たちを「ひとつにする」ことを目指し“つなぐ”をテーマに、チャリティを実施しました。

【チャリティ実施の背景】

2007年にスタートし、2011年(平成23年)2月27日(日)に第5回目を迎える東京マラソンは、ランナー、ボランティア、応援する人々の想いがひとつとなり、様々な感動ストーリーが生まれ着実に日本の文化として成長してきました。

2011大会のランナー募集では、過去最高の33万人以上の方々からお申込みいただきました。
また、1万人のボランティア募集についても過去最短の2日目で締切るなど「支える」という立場の楽しみ方も定着してきました。
そして、今回新たな課題として「チャリティ」にチャレンジしました。

世界の現状を見渡してみると、ワールドマラソンメジャーズ(WMM)のほとんどの大会が、既にチャリティ制度を採用しており、スタンダード化しています。特にロンドン・マラソンでは3万5千人以上の参加ランナーの約3/4がチャリティ目的で走るなど、マラソンを通じて走ることを「楽しむ」だけではなく、「社会に貢献する」という文化的な側面も大きく大会を支えています。

日本最大のシティ・マラソンである東京マラソンも、世界基準の大会へとさらに進化していくための更なるステップとして、チャリティを実施することにより、自分の想いだけでなく、友人や仲間の想いを集めて、みんなの想いを“つなぐ”ことで、多くの人が東京マラソンを通じて、社会の発展の一助にご参画いただけることを目指します。

チャリティランナーは、東京マラソンで行うチャリティ活動の内容と、ご寄付をいただいた方たちの“想い”をより多くの人たちにアピールし、チャリティに対する理解を深め、活動への支援の輪を広げていくために、寄付者を代表して東京マラソンに参加していただくものです。

そのため、チャリティランナーのナンバーカードは一般の参加者とは異なる特別色のナンバーカードとなり、参加に当たっては、記念品として配布されるチャリティランナー用の特別なデザイン・色のTシャツの着用をお願いしています。また、Tシャツの背面には、チャリティに参加した目的や“想い”を自筆で表現できるスペースを設けており、参加者、沿道で応援する方、テレビ放送の視聴者など、多くの方たちにチャリティランナーの存在とその活動を強く印象付ける役割を担っていただきます。



【名 称】： 東京マラソン2011 チャリティ “つなぐ”

【内 容】： “つなぐ” をコンセプトに4つのテーマで、寄付金を募集。

【募 集】： 大きく10万円未満の寄付と、10万円以上の寄付で募集。10万円以上を寄付された方には、チャリティランナーとして東京マラソン本大会への出走枠を提供

【出 走 枠】： 先着1,000名

【募集期間】： 2010年12月15日（水）午前10：00 ～ 2011年01月06日（木）午後05：00まで



東京マラソンチャリティコンセプト

「つなぐ」



「つなぐ」をコンセプトに、「家族」・「未来」・「命」・「夢」の4つのテーマを設定。
チャリティランナーは、それぞれが共感する「テーマに寄付」することが出来る選択制（複数可）を採用

「家族」をつなぐ

「家族」をつなぐチャリティ～難病と戦う子どもたち&家族に勇気と笑顔を！～

[支援予定内容]: ファミリーハウスの設備拡充や新設/キッズキャンプの実施、施設整備
[協力団体名称]: 認定NPO法人ファミリーハウス/公益財団法人そらぶちキッズキャンプ



「未来」をつなぐ

「未来」へつなぐチャリティ～水源の村と森の再生プロジェクト！～

[支援予定内容]: 鹿害防止フェンスの設置/山道の整備
[協力団体名称]: 公益財団法人山梨県緑化推進機構



「命」をつなぐ

「命」をつなぐチャリティ～難民キャンプに命を守るための灯りを！～

[支援予定内容]: 電気がない難民キャンプに、太陽光発電による街灯を設置
[協力団体名称]: 認定NPO法人国連UNHCR協会



「夢」をつなぐ

「夢」をつなぐチャリティ～世界に羽ばたく障害者アスリートを！～

[支援予定内容]: トレーニング用具や競技用具の寄贈/障害者アスリート育成活動の支援
[協力団体名称]: 財団法人日本障害者スポーツ協会/認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本



寄付金総額：¥73,253,580

【金額内訳】

■10万円以上の寄付金（チャリティランナー）・・・・・・・・・・¥71,660,000

- チャリティランナーエントリー数・・・・・・・・・・707人
- 男女構成比・・・・・・・・・・男性633人/女性74人
- 平均年齢・・・・・・・・・・男性47歳/女性43歳/全体47歳
- 最年長/最年少・・・・・・・・・・80歳（男性）/19歳（女性）
- 最高寄付金額・・・・・・・・・・24万円

■10万円未満の寄付金・・・・・・・・・・・・・・・・・・¥185,000

■それ以外・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・¥1,408,580

チャリティランナーへのアンケート結果に基づき配分。

「家族」をつなぐ	■認定NPO法人ファミリーハウス・・・・・・・・・・	2, 217万円
	■公益財団法人そらぶちキッズキャンプ・・・・・・・・	
「未来」をつなぐ	■公益財団法人山梨県緑化推進機構・・・・・・・・	1, 705万円
「命」をつなぐ	■認定NPO法人国連UNHCR協会・・・・・・・・・・	1, 338万円
「夢」をつなぐ	■財団法人日本障害者スポーツ協会・・・・・・・・	1, 265万円
	■認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・・・・・・・・	
その他	■ニュージーランド震災への救援金・・・・・・・・	150万円
	■東日本大震災への復興支援金・・・・・・・・・・	650万円

**東京マラソン2012
チャリティ“つなぐ”実施計画**

【名 称】：東京マラソン2012 チャリティ“つなぐ”

【内 容】：“つなぐ”をコンセプトに「5つ」のテーマで、寄付金を募集。

【募 集】：1万円以上の寄付を募集。10万円以上を寄付された方は、先着でチャリティランナーとして東京マラソン本大会への参加が可能。

※なおチャリティランナーとして参加いただいた場合は、寄付金とは別に一般の方と同額の参加料1万円を別途ご負担いただきます。

【募集期間】：2011年07月15日（金）午前10：00～2012年03月31日（土）午後05:00

※ただし、チャリティランナーは、先着順で最長 2011年11月30日（水）午後05:00まで受付いたします。

【参加定員】：チャリティランナーは、定員3,000人を先着順で受付ます。



■ 正式名称

「東京マラソン2012 チャリティ“つなぐ”」

■ 寄付について

【日時】2011年07月15日(金)午前10時～2012年03月31日(土)午後5時まで

【方法】東京マラソン公式ウェブサイト <http://www.tokyo42195.org/> 及び、ゼビオ㈱ウェブサイト <http://www1.xebio.co.jp/> からお申込できます。

※電話・FAX・郵便での申し込みはできません。

※お振込み方法は、お申込みの方に追ってご連絡いたします。

【金額】任意(なお、10万円以上の寄付については、事務手続きの関係上、1万円単位での寄付を御願ひしております。)

(寄付金・参加料についての特記事項)

①寄付金は一般財団法人東京マラソン財団への寄付となります。当財団への寄付は、寄付金控除等の税制優遇の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

②チャリティランナーへの参加は、個人による寄付者に限らせていただいています。

③チャリティランナーへ参加希望の方には、お申込み時に寄付先の団体が取り組む事業を選択していただけます。この結果を尊重しながら各テーマのチャリティ事業を行う方針ですが、実際の事業配分は、諸事情を考慮しながら当財団で決定します。今年度は寄付金額の50%を東日本大震災関連の復興支援金に寄付する予定です。また、寄付金額の多少や社会情勢の変化、突発的災害等の発生などにより、当財団の判断で寄付金の一部を別のチャリティ活動に充てる場合があります。

④寄付金や参加料につきましては、お振込み後のキャンセル・ご返金はできません。また、主催者の責によらない事由で大会が中止となった場合でも、寄付金および参加料の返金は一切行いません。

⑤参加料の領収書の発行は、金融機関発行の振込明細書、払込受領書をもって代えさせていただきます。寄付金の領収書については、後日、郵送でお届けしますが、事務手続きの都合により2012年3月以降となる予定ですので、予めご了承ください。

■ チャリティランナーについて

【資格】2011年07月15日(金)午前10時～2011年11月30日(水)午後5時までの間に、10万円以上の寄付を申し込みいただいた方(個人のみ、法人は除く)の中で、ランナーとしての参加を希望された先着3,000人(定員に達し次第終了)。

※「東京マラソン2012」への参加料1万円と事務手数料500円を、別途ご負担いただきます。

※ 参加手続きの都合により、定員に達しない場合でも、チャリティランナー参加の受付は、2011年11月30日(水)午後5時までのご寄付で受付を終了します。

【注意事項】

・チャリティランナー参加に当たっては、特段の記載がない場合、一般の参加者の募集要項・申込規約等に準じます。

・参加いただく種目は、マラソン(42.195km)の一般の部のみです。

・参加資格は、大会当日19歳以上で6時間40分以内に完走できる男女です。

・障害を持つ方で単独走行が困難な場合は伴走者1人をつけてください。(盲導犬の伴走は不可とします。)

・チャリティランナーが病気等の理由により参加できない場合でも、代理人による参加はお断りしています。

また、その場合でも、寄付金および参加料の返金には応じかねますので、予めご了承ください。

・チャリティランナーには、一般参加者に配布される「参加記念Tシャツ」とは別デザインの「チャリティランナー参加記念Tシャツ」を配布します。チャリティの趣旨をアピールするため、できましたら、このTシャツを着用しての参加をお願いします。

東京マラソンチャリティコンセプト

「つ な ぐ」



「つなぐ」をコンセプトに、「家族」・「未来」・「命」・「夢」・「**暮し**」の**5つのテーマ**を設定。

テーマ別に、それぞれ2つの協力団体を設け、チャリティランナーは、
それぞれが共感する「**協力団体**」の**活動**に寄付することが出来る選択制を採用。

「家族」をつなぐ

「家族」をつなぐチャリティ～難病と戦う子どもたち&家族に勇気と笑顔を！～

〔支援予定内容〕：ファミリーハウスの設備拡充や新設/キッズキャンプの実施、施設整備
〔協力団体名称〕：認定NPO法人ファミリーハウス/公益財団法人そらぶちキッズキャンプ



「未来」をつなぐ

「未来」をつなぐチャリティ～豊かな森と水の再生プロジェクト！～

〔支援予定内容〕：鹿害防止フェンスの設置・山道の整備/未済造林地(裸山)の再生
/花粉の少ないスギ等の植栽及び樹種更新によるスギ花粉量の削減。
〔協力団体名称〕：公益財団法人山梨県緑化推進機構/公益財団法人東京都農林水産振興財団



「命」をつなぐ

「命」をつなぐチャリティ～命を守るための灯りと医療を！～

〔支援予定内容〕：太陽光発電による街灯を設置/保健所の建設・各保健所に必要な備品の支給
〔協力団体名称〕：認定NPO法人国連UNHCR協会/公益財団法人プラン・ジャパン



「夢」をつなぐ

「夢」をつなぐチャリティ～世界に羽ばたく障害者アスリートを！～

〔支援予定内容〕：トレーニング用具や競技用具の寄贈/障害者アスリート育成活動の支援
〔協力団体名称〕：財団法人日本障害者スポーツ協会/認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本



「暮らし」をつなぐ

「暮らし」をつなぐチャリティ～人々の安心安全な生活を守る！～

〔支援予定内容〕：交通安全運動の普及・啓発/応急手当及び救急についての普及・啓発
〔協力団体名称〕：財団法人東京交通安全協会/公益財団法人東京救急防災協会



「家族をつなぐチャリティ」

～難病と戦う子どもたち&家族に勇気と笑顔を！～

(活動予定)

ファミリーハウスの設備拡充や新設



※この活動は認定NPO法人ファミリーハウスの協力により実施する予定です。

専門病院が多くある東京では、全国から来た子どもたちが重い病気と闘っています。長期間入院して闘病する子どもたちには、家族の支えが不可欠で、その笑顔が一番の薬です。しかし、付添家族は病院に泊まり込むことができず、家族には経済的・身体的・精神的負担が大きくなってきました。家族が安心して宿泊でき、病院から外泊に来る子どもたちと家族が一緒に過ごせる滞在施設(ファミリーハウス)を増やし、その質を向上させるための活動に取り組めます。

(活動予定)

キッズキャンプの開催・施設の整備・充実



※この活動は公益財団法人そらぶちキッズキャンプの協力により実施する予定です。

難病の子どもたちが自然の中で、安心・安全に楽しく過ごせるよう、特別に配慮された医療プログラムやスタッフ等の整ったキャンプ場での自然体験プログラム(キッズキャンプ)は、子どもやその家族が、病気のことを忘れ、笑顔で楽しいときを過ごし、「楽しい思い出」「すばらしい仲間」「生きる力」「希望」を得られる貴重な場です。そんなキッズキャンプの支援に取り組めます。

「未来をつなぐチャリティ」

～豊かな森と水の再生プロジェクト！～

(活動予定)

鹿害防止フェンスの設置や山道の整備/
下草や枝の伐採、間伐、花木の植栽



※この活動は公益財団法人山梨県緑化推進機構の
協力により実施する予定です。

(活動予定)

花粉の少ない森づくり/スギ林の伐採と花粉の少
ないスギの植栽によるスギ花粉の削減。



※この活動は公益財団法人東京都農林水産振興財団の
協力により実施する予定です。

私たちが生きていくためにも欠かせない水。その水源流域では、林業の低迷や過疎化・高齢化によって、森林の管理が放置される事例が拡大しています。また、耕作放棄された農地や荒廃した集落周辺の里地里山は、野生鳥獣のすみ家と化し、人的被害も増加しています。きれいでおいしい水を未来の子どもたちにつないでいくために、山や森林を健全に維持するための作業だけでなく、森林の維持管理に欠かせない山村に暮らす住民が元気に平穏に暮らせる環境の創出にも取り組んでいきます。

東京都の水源地にある多摩の森林は、水源のかん養、CO2を吸収・貯蔵するなど様々な公益的機能をもっています。しかし、木材価格の低迷などから、伐採、利用されないスギ林が増えています。成長したスギ林がスギ花粉の発生源となっていることから、スギ林の伐採と花粉の少ないスギの植栽、伐った木の活用に取り組みます。これにより、水源かん養やCO2吸収など、森林の公益的機能を回復させるとともに、多摩地域から発生するスギ花粉を削減する「花粉の少ない森づくり」を進めていきます。

「命をつなぐチャリティ」

～命を守るための灯りと医療を！～

(活動予定)

電気のない難民キャンプに、
太陽光発電による街灯を設置



※この活動は認定NPO法人国連UNHCR協会の
協力により実施する予定です。

戦争などで故郷を追われて生活する難民たちの命をつないでいる難民キャンプ。そこでの生活は、決して快適なものではありません。電気が通じないアフリカの72の難民キャンプでは、暗くなる夕方以降、犯罪や公共物の破損、性的暴力が頻発し、女性や子どもたちが危険にさらされています。そんな難民キャンプの生活の質的向上を目指して、先進技術によって彼らの心と明日に灯りをともしていきたいと考えます。

(活動予定)

分娩設備の備わった保健所の
建設及び必要な備品の支給



※この活動は公益財団法人プラン・ジャパンの
協力により実施する予定です。

フィリピンでは、政府や非政府組織などの支援により保健施設が進み、健康状態も改善されています。しかし北サマル州などの貧しい農村地域では、いまだ保健施設が整っておらず、地域の人々は適切な治療を受けることができず、命を落とす人も多くいます。出産施設も不足しているため、出産時の不足の事態に対応することができず母親と新生児の命が危険にさらされています。そんな貧しい農村地域の人々の命をつなぐ、医療サービスの整備に取り組みます。

「夢をつなぐチャリティ」

～世界に羽ばたく障害者アスリートを！～

(活動予定)

トレーニング用具や競技用具の寄贈



※この活動は財団法人日本障害者スポーツ協会の協力により実施する予定です。

障害を克服し、自らの記録の更新と世界のライバルへ果敢に挑戦する障害者アスリートのパフォーマンスは、家族や友人のみならず、多くの人々に感動と勇気を与えます。世界のトップレベルで活躍するパラリンピック選手のトレーニング環境や成績向上のサポートに取り組めます。

(活動予定)

障害者アスリート育成活動の支援



※この活動は認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本の協力により実施する予定です。

1968年、故ケネディ大統領の妹ユニス・シュライバーが、当時スポーツを楽しむ機会が少なかった知的発達障害のある人たちにスポーツを通じ社会参加を促す機会としてはじまった「スペシャルオリンピックス」。知的発達障害のある人たちの可能性をスポーツにおいて、実現し、彼らに対する社会の否定的な固定観念や差別的態度を変えるため、知的障害を持つアスリートのスポーツトレーニング環境の整備とパフォーマンスの向上に取り組めます。

「暮しをつなぐチャリティ」

～身近な危険から家族を守る！～

〔活動予定〕

交通安全啓発活動/二輪車や自転車の安全教育・指導
/東京交通少年団による交通安全PR活動等



※この活動は財団法人東京交通安全協会の協力により実施する予定です。

日々の生活の中で、当たり前と思いがちな暮らしの安全。しかし、身近なところに多くの危険が潜んでいます。このため、暮らしの安全を目的に、各種の安全対策がとられています。その中でも、誰しもが関わる交通安全、防災・救急における対策や取組はとても重要です。交通事故の発生状況は依然として厳しく、交通の安全をめざすための各種取組が行われています。高齢者や子どもを対象とした交通安全教育、交通少年団の地域活動、二輪車や自転車の安全運転指導、交通事故防止を呼びかける冊子の頒布等の支援などがあげられます。こうした具体的な取組が「安全で快適な交通社会」の実現への貢献につながります。

〔活動予定〕

応急手当及び救急についての普及・啓発



※この活動は公益財団法人東京防災救急協会の協力により実施する予定です。

けが人や急病人が発生した場合、救急隊や医療従事者がその場に到着するまでの間に、その場に遭遇した人による応急手当が尊い命を救うために非常に重要となります。一人ひとりが自信を持って、応急手当を行えることは、地震などの災害時も含めて、自助共助がますます求められる昨今、非常に重要となっております。より多くの人々が救命技能を身につけるための応急手当講習会を開催し、安心して暮らせる社会の実現を目指しています。

「2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会」 アテネ日本選手団結団式へご招待

【2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネ日本選手団結団式概要】

開催日時：2011年6月18日（土）午後2時～午後3時半頃

受付：午後1時20分～（受付場所：ソフトバンクグループ本社1階受付）

開催場所：ソフトバンクグループ本社25階（〒105-7317東京都港区東新橋1-9-1）

出席者：認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本理事長有森裕子（日本選手団長）

日本選手団75名

ゲスト：2004年アテネオリンピックでご活躍されたスポーツ著名人の皆様など調整中

内容：日本選手団紹介、日本選手団決意表明、ユニフォーム発表、激励挨拶、

ゲストトークセッション等

主催：認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本（SON）

共催：株式会社ウィルコム

協力：日本コカ・コーラ株式会社



“世界難民の日” に向けての文化講演会へご招待

【“世界難民の日” に向けての文化講演会 開催概要】

開催日時：2011年6月19日（日）

開催時間：11：00-12：50（予定）

開催場所：渋谷シダックスビレッジ2Fイベントホール

開催内容：－第一部：渡部陽一氏 基調講演「戦火に生きる人々の命の“絆”」

－第二部：渡部陽一氏と高嶋由美子（国連UNHCR協会事務局長）の対談

「人と人との“絆”」、「それぞれの“ふるさと”」

その他：同日開催：UNHCR・学生ボランティア写真展



そらぶちキッズキャンプ サマープレキャンプ2011 ボランティア参加

■募集対象 : 子供たちのキャンプ生活をサポートできる方。

■募集人員 : 5名（先着順）※2011年度中に19歳以上になる方が対象となります。

※募集は、既に終了しております。

■開催期間 : 2011年7月30日（土）～8月3日（水）

※7月30日は事前研修となります。

■場 所 : 北海道滝川市丸加高原（そらぶちキッズキャンプ建設地とその周辺）

※宿泊につきましては、市営宿泊施設 丸加高原伝習館となります。

■参加負担金 : なし（自宅から最寄空港の往復運賃については自己負担となります。）

※上記以外の旅費交通費については東京マラソン財団が負担します。

※滞在宿泊費および食費については、そらぶちキッズキャンプが負担します。



**今年度の寄付金分配については寄付金総額の50%を
東日本大震災関連の復興支援金に寄付します。**

東京マラソン2012チャリティ“つなぐ”
(寄付金総額)

寄付金の50%を分配

**東日本大震災関連の
支援団体などに寄付**

寄付金の50%を分配

**5つのテーマ別の
チャリティ協力団体へ寄付**

寄付先については、「桃・柿育英会」をはじめとした、
支援活動団体への寄付および、東京マラソン財団の
東日本大震災に復興に関わる自主事業の活動資金にあてる予定です。

寄付先候補①：「桃・柿育英会」



東日本大震災からの復興
のためには、日本人の心を
一つにしなくてはなりません。
東京マラソンにより、
人々の心が近づいていく
ことを期待します。
日本の元気を象徴する。
このイベントを通して、
被災地の遺児・孤児の
育英資金への寄附力を
お願ひします。



安藤忠雄

「桃・柿育英会」とは、東日本大震災にて肉親を失った子どもたちが、今後も健やかに成長して
欲しいとの願いを込めて、建築家・安藤忠雄氏ら9名が呼びかけ人となって創設された遺児育英資金です。

その他の支援活動団体や、東京マラソン財団の自主事業については、現在検討中となります。

大型スポーツショップを運営する「ゼビオ㈱」が チャリティスポンサーとして協賛し、チャリティを全面バックアップ！

チャリティスポンサーの「ゼビオ㈱」には、チャリティ制度を拡充し、より大きな社会貢献が果たせるよう、寄付金募集や広報活動などを様々な側面でサポートしていただきます。

(チャリティスポンサーのサポート内容)



チャリティに関する必要経費を協賛社の支援で充当することによって
寄付金額をより多く集める体制を整備することが可能となりました。

こころを動かすスポーツ。



社 名:ゼビオ株式会社(XEBIO CO.,LTD)

創 業:1962年(昭和38年)8月

所 在 地 :〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35 (本社)

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-26-8 神田小川町ビル(東京オフィス)

設 立:1973年(昭和48年)7月

事業内容:スポーツ用品・用具、紳士、婦人、子ども服の販売

ゼビオは、福島に本社を置く企業として、これまで「スポーツを通じ、心も身体も健康で豊かにするための支援」をテーマに、物資提供や避難所訪問などの復興支援活動に取り組んできました。

【東日本大震災に対する復興支援活動について】



2011年5月29日
福島県郡山市の避難所を訪問



2011年5月22日
福島県須賀川市を訪問



2011年5月15日
岩手県遠野市「ふれあいサッカー教室」
にてサッカーボールを寄付



2011年5月11日
相馬市立中村第二小学校を訪問



2011年5月4日
ゼビオプレゼンツ東京ダービーへ
福島県の子どもたちをご招待



2011年5月1日
郡山市、猪苗代町、会津若松市の
避難所を訪問



2011年4月23日
大玉村、郡山市の避難所を訪問



2011年4月20日
石巻市の避難所を訪問



2011年4月9日
福島市、郡山市の避難所を訪問



2011年3月30日
盛岡市の避難所を訪問



2011年3月26日
田中豪選手 アイスホッケーチャリティイベント



2011年6月26日
石巻Jrアイスホッケーチームを訪問

ゼビオグループは東京マラソン財団と協力し、チャリティランナーを集めることで、日本の「チャリティラン」の普及に貢献致します。

チャリティランナーを集めるために以下の活動を通じて協力していきます。



ゼビオグループが行うイベント



ゼビオグループの店舗



ゼビオグループWEBサイトなど



本大会協賛だけでなく、より一層のチャリティ普及やランニングの裾野を広げるため、各地での東京マラソン財団公認イベント『ROAD to TOKYO MARATHON』の開催を計画しております。

東京マラソン2012チャリティ“つなぐ”「チャリティランナーTシャツ」デザインイメージ

FRONT



BACK



チャリティランナーへは、記念品として配布されるチャリティランナー用の特別なデザイン・色のTシャツの着用をお願いしています。また、Tシャツの背面には、チャリティに参加した目的や“想い”を自筆で表現できるスペースを設けており、参加者、沿道で応援する方、テレビ放送の視聴者など、多くの方たちにチャリティランナーの存在とその活動を強く印象付ける役割を担っていただきます。